

1 目的

平成23年度の方針転換（十勝大学設置促進期成会）から約10年間が経過したことから、これまでのとち高高等教育推進まちづくり会議の取り組みを確認する。

2 高等教育の取り組みに関する方針転換

(1) 平成22年度までの取組みの検証

「新たな大学整備」については、平成12年以降、公私協力方式に優位性があるものとして、主に首都圏を中心とした私学法人の誘致に取り組んできたが、その実現はできなかった。

(2) 平成23年度の方針転換の趣旨

公私協力方式での大学誘致・看護系大学・医科大学などの取り組みとは別の考え方に立つこととし、**帯広畜産大学を核に地域特性・優位性を活かし、まちづくりと連動させながら、段階的に高等教育機関の整備をすすめる取り組みへ方針転換**する。
(平成23年度十勝大学設置促進期成会総会決定)

(3) 方針転換後の取り組みの方向性

帯広畜産大学を核に、様々な教育・研究を通じた知の拠点の形成を目指すため、十勝・帯広の地域特性・優位性である「食」や「農業」を活かし、フードバレーとちの展開方策と動きを合わせて、地域で活躍する人づくり、国内外の大学や企業、人材の集積など、高等教育周辺の環境づくりを進める。

取り組みの成果を土台に、帯広畜産大学の学部・学科・大学院、新しい大学・学部・学科・大学院など、地域が必要とする高等教育機関の具体的な形を整理し、新たな高等教育機関の整備に向けた取り組みを進める。

3. 方針転換後の主な取り組み

方針転換後の 主な取り組み項目

- (1) 地域で活躍する人づくり
- (2) 国内外の大学との連携
- (3) 企業、人材の集積

とち高高等教育推進まちづくり会議

- **地域の発展に特に重要な人材像**
地域資源を活かした新たな価値の創造に中核的な役割を担う経営者・経営幹部などのリーダー人材の育成プログラムを検討
- **具体的な検討テーマ**
 - ・ 食品安全管理のスペシャリスト養成
 - ・ 地域連携による国際水準の獣医師養成
 - ・ アグリ・フードビジネスのマネジメント人材養成
 - ・ 人材の活躍の場・環境づくり

(1) 地域で活躍する人材育成

- ・ 食品安全管理のスペシャリスト養成（まちづくり会議、畜大）
- ・ 地域連携による国際水準の獣医師養成（まちづくり会議、畜大）
- ・ アグリ・フードビジネスマネジメント人材養成（まちづくり会議、畜大、帯広市）
- ・ 畜産フィールド科学センターにおけるリカレント教育（畜大）
- ・ 企業と連携したリカレント教育（畜大）

(2) 国内外の大学との連携

- ・ 国内の大学・高等教育機関に関する調査・研究等（帯広市）
- ・ 国際協力活動・国際協力人材の育成（畜大）
- ・ 海外大学等との学術交流協定（畜大）
- ・ 国内大学との経営統合（畜大）

(3) 企業、人材の集積

- ・ 企業・団体等との産学連携（畜大）
- ・ 企業、研究機関との連携・寄附講座（畜大、帯広市等）

(4) 人材の活躍の場・環境づくり

- ・ 人材の活躍の場・環境づくりに関する調査・研究等（まちづくり会議）
- ・ 学生と地域がつながるまちづくり（畜大、帯広市）
- ・ 地域振興・社会貢献（畜大）

4. 取り組みの総括

□ 地域で活躍する人づくり

とち高高等教育推進まちづくり会議において具体的な協議テーマを定め、調査・研究、意見交換を進めながら、帯広畜産大学が人材育成プログラム、リカレント教育に取り組み、十勝・帯広の人材育成の体制整備が進んだ。

□ 国内外の大学との連携

帯広畜産大学が国際協力活動や海外大学との学術交流協定を通じ、国際的な教育・研究、人材育成に取り組み、帯広畜産大学と海外とのネットワークの拡大が図られた。

□ 企業、人材の集積

帯広畜産大学を起点に域内外の企業が集積し、地域特性を活用した共同研究や受託研究の実施、新たな商品・技術開発などにより、十勝・帯広における知の集積が進んだ。

□ 人材の活躍の場・環境づくり

帯広畜産大学の学生が主体となった地域課題の解決等の取り組みが進んだ。

これらの取り組みから大学と地域の接点が増え、十勝・帯広のまちづくりと大学との連動が進むことで、十勝・帯広の知の拠点形成が推進されるとともに、地域の成長に寄与してきたと考える。一方、地域が必要とする高等教育機関の具体的な形の整理（具体的な分野、高等教育機関の形態—帯広畜産大学の学部・学科・大学院、新しい大学・学部・学科・大学院など）には至らなかった。

今後は、今回の取り組みの総括や大学を取り巻く環境の変化を踏まえ、十勝・帯広の高等教育の取り組みの在り方について検討する必要がある。